

JIS

100 kW 未満のバイナリー発電システムー 性能試験方法

JIS C 63277 : 2023
(IEC 63277 : 2021)

(JSA)

令和 5 年 11 月 20 日 制定

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第二部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	古 関 隆 章	東京大学
(委員)	青 木 真 理	川崎市地域女性連絡協議会
	上 野 貴 由	一般社団法人日本電機工業会
	岡 本 正 英	IEC/SMB 委員 (株式会社日立製作所)
	上参郷 龍 哉	一般財団法人電気安全環境研究所
	河 合 和 哉	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	熊 田 亜紀子	東京大学
	高 橋 弘	IEC/CAB 委員 (富士電機株式会社)
	田 中 博 敏	一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
	田 辺 恵 子	主婦連合会
	野 田 耕 一	一般財団法人日本規格協会
	林 泰 弘	早稲田大学
	平 本 俊 郎	東京大学
	本 吉 高 行	一般社団法人電気学会
	山 地 理 恵	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサル タント・相談員協会
	横 倉 里 美	一般社団法人電子情報技術産業協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：令和 5.11.20

官 報 掲 載 日：令和 5.11.20

原 案 作 成 者：一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第二部会 (部会長 古関 隆章)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際電気標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 バイナリー発電システムの構造及び発電出力	3
4.1 バイナリー発電システムの一般的な構造	3
4.2 送電端出力（ネット出力）及び発電端出力（グロス出力）	3
5 試験条件	4
5.1 標準試験条件	4
5.2 定格試験条件	4
5.3 測定に用いる測定器の精度	4
6 発電出力・発電効率の測定・算出方法	5
6.1 送電端出力の測定方法	5
6.2 温水の温度・流量の測定方法	6
6.3 冷却水の温度・流量の測定方法	7
6.4 発電出力・発電効率の算出方法	7
7 表示及び文書	8
7.1 製品への表示	8
7.2 技術仕様書の記載事項	8
附属書 A（参考）バイナリー発電システム用系統連系インバーターの仕様	10
附属書 B（参考）発電効率の算出	11
附属書 C（参考）試験報告書の項目	12
解 説	13

まえがき

この規格は、産業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を制定すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本産業規格である。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

100 kW 未満のバイナリー発電システム— 性能試験方法

Binary power generation systems with capacity less than 100 kW— Performance test methods

序文

この規格は、2021年に第1版として発行された IEC 63277 を基に、技術的内容及び構成を変更することなく作成した日本産業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある参考事項は、対応国際規格にはない事項である。

1 適用範囲

この規格は、発電能力が 100 kW 未満のバイナリー発電システムの性能試験方法について規定する。

この規格では、標準試験条件を定義し、バイナリー発電システムの発電効率を推定する。

この規格は、再生可能エネルギー又は産業分野の排熱によって発生する、最高温度が 100 °C 未満の無圧の温水の温熱源と、冷却水による冷熱源とをもつバイナリー発電システムに適用する。

この規格は、バイナリー発電システムの性能試験、標準試験条件、並びに発電出力及び発電効率を求め
るための試験方法を規定する。

条件には、加熱条件（温度・流量）及び冷却条件（温度・流量）を含む。

この規格に規定する試験は、実際に用いるアセンブリの使用を前提とする。

この規格は、発電能力が 100 kW 以上のバイナリー発電システムには適用しない。また、温熱源は、100 °C 未満の無圧の温水を対象とする。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

IEC 63277:2021, Binary power generation systems with capacity less than 100 kW—Performance test methods (IDT)

なお、対応の程度を表す記号“IDT”は、ISO/IEC Guide 21-1 に基づき、“一致している”ことを示す。

2 引用規格

この規格には、引用規格はない。